

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/3>

参考値

(データ集約 : 6/20)

採取場所	1号機原子炉建屋上部① (カバー排気系フィルター入口) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部② (カバー北西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部③ (カバー北東コーナー) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
試料採取日時刻	平成26年6月2日 8時22分～9時22分		平成26年6月2日 6時19分～7時19分		平成26年6月2日 11時25分～12時25分		
検出核種 (半減期)							
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	6.7E-06	0.00	1.3E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	2.3E-05	0.01	4.5E-05	0.02	3E-03

- ※ O.OE-Oとは、O.O×10^{-O}と同じ意味である。
 その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
 検出限界値は次の通り。
 粒子状のI-131が約9E-7Bq/cm³、Cs-134が約9E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-6Bq/cm³。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/3>

参考値

(データ集約：6/20)

採取場所	1号機原子炉建屋上部④ (カバー南西コーナー) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑤ (原子炉建屋オペフロ面開口部) (粒子状フィルタ)		1号機原子炉建屋上部⑥ (使用済燃料プール天井部) (粒子状フィルタ)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
試料採取日時刻	平成26年6月2日 7時20分～8時20分		平成26年6月2日 10時24分～11時24分		平成26年6月2日 3時15分～4時15分		
検出核種 (半減期)							
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	3.3E-05	0.02	8.4E-06	0.00	1.6E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.1E-04	0.04	2.5E-05	0.01	5.1E-05	0.02	3E-03

- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。
その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
検出限界値は次の通り。
粒子状のI-131が約1E-6Bq/cm³。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/3>

参考値

(データ集約：6/20)

採取場所	1号機原子炉建屋上部⑦ (使用済燃料プール天井部) (チャコールフィルタ)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成26年6月2日 13時55分～14時05分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03

- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。
その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
検出限界値は次の通り。
揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約6E-6Bq/cm³、Cs-137が約9E-6Bq/cm³。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。
本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。